

富山大学医学部看護学科新研究棟完成記念式典

富山大学医学部看護学科は、新研究棟完成記念式典を5月20日に開催した。

同式典には、文部科学省高等教育局医学教育課 石橋看護教育専門官、石井富山県知事及び遠藤富山大学長等、関係者約80名が出席し、新研究棟の完成を祝った。

式典では、村口医学部長から、「富山県地域医療再整備計画」に基づき、地域の看護師不足対策として入学定員20名増や、寄附講座「高度専門看護教育講座」、「在宅看護学講座」による、高度な看護実践能力の育成を支援するシステム構築に関する研究を行なうために、富山県と富山大学の連携により設置された経緯について説明の後、今後、地域と有機的連携をさらに目指し、県内の看護学発展に努力するとの挨拶があり、遠藤 俊郎学長の挨拶、文部科学省高等教育局医学教育課長祝辞の代読および石井富山県知事による祝辞があった。式典終了後、来賓や学内関係者等は新棟の施設見学を行った。

続いて、ホスピスケア研究会顧問・日本訪問看護振興財団理事の季羽 倭文子 氏による、「看とりの心 Watch with Me」と題して記念講演会が開催され、県内医療関係者や学生を含め約120名の参加があった。

新研究棟は、鉄筋コンクリート4階建てで、延べ面積1,722㎡。看護実習室、県の寄附講座研究室や120名収容する講義室等を備え、建物内はバリアフリーとし、全て発光ダイオード(LED)照明を使い環境に配慮した建物である。



遠藤学長の挨拶



石井富山県知事の祝辞



村口医学部長の挨拶



石橋看護教育専門官の祝辞